

コピーしたデータを見る

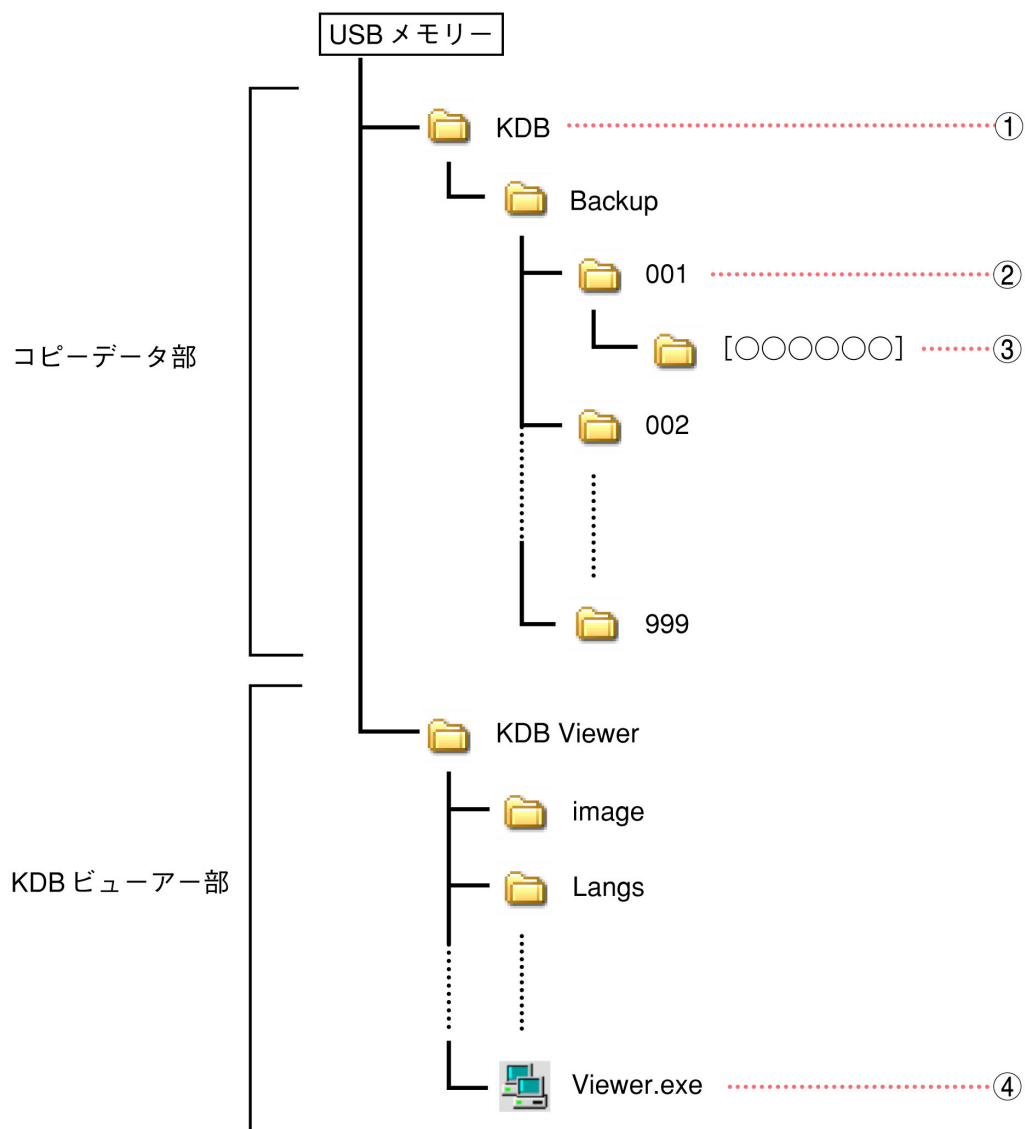
本機は、録画したデータを USB メモリーにコピーをすることができます。コピーした録画データは、PC 上でビューアーを使用して閲覧できます。コピーしたファイル形式には、KDB 形式と SFX 形式の2種類があり、それぞれ再生方法が異なります。

KDB ビューアー

● KDB 形式について

ハードディスクに録画された映像データと音声データを複数チャンネル指定し、コピーすることができます。コピーしたデータは、同時に保存される KDB ビューアーを使用して見ることができます。KDB 形式でコピーを実行すると、以下のフォルダが作成されます。

● KDB 形式のファイル構成



- ① KDB フォルダ : 以下の階層にコピーデータを含みます。コピーデータを USB メモリーから PC へ移動するときは、このフォルダを C ドライブや D ドライブなどの直下の階層へ移動してください。KDB ビューアーは、ドライブ直下の KDB フォルダを検索し、その中のコピーデータをリスト表示します。
- ご注意** フォルダ名称を変更すると KDB ビューアーから検索できません。フォルダ名称は変更しないでください。
- ② 001 ～ 999 フォルダ : 複数回のコピーを同じ USB メモリーで行った場合に、小さい番号順でフォルダを作成します。最大 999 までフォルダを作成します。
- ③ [○○○○○○○] フォルダ : 直下にイベントデータや動画データを含みます。
- ご注意** フォルダ名称を変更すると KDB ビューアーから検索できません。フォルダ名称は変更しないでください。
- ④  Viewer.exe : KDB ビューアー実行ファイルです。ダブルクリックすると KDB ビューアーを起動します。

ご注意

KDB フォルダおよび KDB Viewer フォルダのプロパティで表示される作成日時は、グリニッジ標準時（GMT）で表示されています。日本時間への読み替えは+9時間してください。

● KDB ビューアーについて

KDB ビューアーは、KDB 形式でコピーする際に、USB メモリーに同時に保存される専用ビューアーです。KDB ビューアーの主な機能は以下のとおりです。

- 再生映像の4分割／1画面表示
- 1画面表示時の画面拡大とズーム表示
- コピーデータの音声再生
- コピーデータのカレンダー表示とカラーバー表示
- 一時停止画面の印刷（1画面表示中のみ）
- 一時停止画面のJPEG保存（1画面表示中のみ）
- KDB形式での部分保存

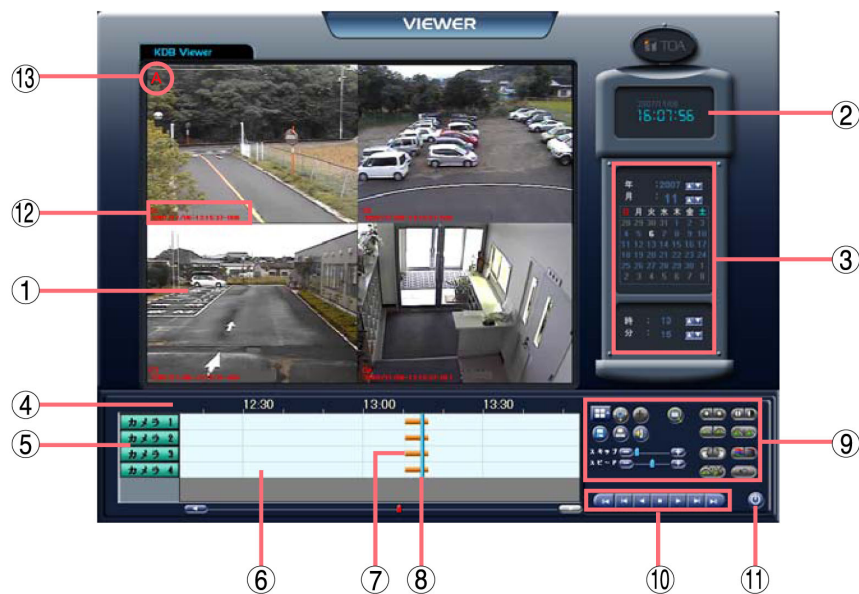
ご注意

KDB ビューアーを見る場合は、PCの「画面のプロパティ」を以下に設定してください。異なる設定では正しく表示できないことがあります。

画面の解像度 : 1024 × 768 (XGA)

画面の色 : 24 bit 以上

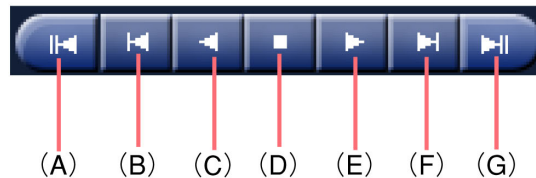
● KDB ビューアー画面表示について



- ① 映像表示画面 : 検索、再生されたコピーデータの映像を表示します。1画面／4分割画面表示ができます。再生映像をクリックすると、1画面表示と4分割表示を切り換えます。画面表示の切り換えは、再生停止中のみ操作可能です。
- ② 現在日時表示 : KDB ビューアーを起動しているPCの現在日時を表示します。
- ③ 検索日時選択部 : 年、月を変更すると、カレンダー表示が変更されます。カレンダーの日付の色は、以下のようになります。
- 青色：コピーデータがない日を示します。
- 赤色：コピーデータがある日を示します。選択すると白色に変わります。
- 黄色：カレンダー中の今日を示します。コピーデータがある場合は、白色で表示されます。
- 白色：コピーデータがあり、選択されていると白色になります。タイムテーブルにカラーバーを表示します。
- ④ 時刻表示 : タイムテーブルの時刻を表示します。時刻表示をクリックすると、タイムテーブルが2段階で拡大表示されます。
- ⑤ カメラ選択ボタン : 映像表示画面に表示させるカメラを選択します。KDB ビューアー起動時は、4チャンネルすべて選択されています。選択していると、カメラ番号が緑色になります。未選択では、カメラ番号が青色になります。
- ⑥ タイムテーブル : コピーデータの位置を視覚的に表示します。
- ⑦ カラーバー : コピーデータをカラーバーで表示します。録画モードにより以下の色別で表示されます。
- 紫色：緊急録画データ
- 緑色：アラーム録画データ
- 青色：モーション録画データ
- 橙色：ノーマル録画データ

- ⑧ カーソル : 再生を開始する位置を指定するためのカーソルです。タイムテーブルをクリックするとカーソルが移動します。また、検索日時選択部の時、分を変更してもカーソルを移動できます。
- ⑨ 操作アイコン部
-  4分割表示 : 4分割画面を表示します。
-  画面拡大 : 1画面表示中に画面を拡大できます。6段階で拡大します。
-  デジタルズーム : 1画面表示中にデジタルズームします。アイコンをクリックすると、拡大・縮小・移動の3つの操作状態に切り換わります。操作状態に応じてマウスポインターの形状が変わります。拡大・縮小・移動ともマウスの右クリックで操作します。
-  : 右クリックすると拡大します。
-  : 右クリックすると縮小します。
-  : 右ドラッグ&ドロップすると、ズーム位置を移動します。右ドラッグ中のみマウスポインターは手の形になります。
-  保存 : JPEGでの静止画保存や時間を指定してのKDB形式による部分保存を行います。(P. 4-24「保存設定」)
-  印刷 : 1画面表示中に、再生停止した映像を印刷します。
-  352×240で録画された映像を印刷するときは、再生停止後に画面拡大ボタンを押すと、印刷サイズを変更できます。
-  オーディオ設定 : 音声再生設定画面を表示します。再生時に出力する音声チャンネルを選択したり、ボリュームを変更できます。(P. 4-23「音声再生設定」)
- ご注意** 再生するPCによっては、再生音声が途切れる場合があります。途切れがひどい場合は、別のPCで再生してください。
-  コピーデータリスト : KDBビューアーで検索したコピーデータをリスト表示します。(P. 4-22「コピーデータリスト」)
- スキップ : 再生停止中に操作することができます。⊕側にすると、映像をスキップしながら再生します。通常は⊖側で使用してください。
- スピード : 再生速度を変更します。⊕を押すごとに再生速度が速くなります。⊖を押すごとに再生速度は遅くなります。
- ご注意** 再生速度および逆再生速度は一定の速度以上にはなりません。また、逆再生の速度は再生の速度より遅くなります。
-  ブライトネス : 明るさの調整をします。(1画面選択時のみ)
-  コントラスト : 色彩の調整をします。(1画面選択時のみ)
-  シャープネス : シャープの調整をします。左側を押すと、輪郭がぼやけてきます。右側を押すと、輪郭がはっきりします。(1画面選択時のみ)
-  ノイズの除去 : ノイズを低減できます。(1画面選択時のみ)
-  曲面回転 : 面で回転できます。(1画面選択時のみ)
-  ガンマ補正 : ガンマ補正の量を調整します。(1画面選択時のみ)
-  回転 : 画面を回転することができます。(1画面選択時のみ)
-  元に戻す : ブライトネス、コントラスト、シャープネス、ノイズの除去、曲面回転、ガンマ補正、回転の設定を変更前の画像データに戻します。

⑩ 再生操作部



- (A) 最古 : 再生している日の最古の映像を頭出しします。
 (B) 1コマ逆再生 : コマ戻し再生を行います。
 (C) 逆再生 : 逆再生します。
 (D) 停止 : 再生を停止します。
 (E) 再生 : 再生します。
 (F) 1コマ再生 : コマ送り再生を行います。
 (G) 最新 : 再生している日の最新の映像に移動します。

- ⑪ 終了ボタン : KDBビューアーを終了します。
 ⑫ 再生情報表示 : 再生中の映像の情報を表示します。上段にカメラチャンネル番号、下段に再生日時を表示します。
 ⑬ 音声表示 : 音声を含むデータを再生しているときは、「A (赤色)」を表示します。音声を含まないデータの場合は、何も表示されません。また、音声再生中は「A (黄色)」を表示します。

● KDBビューアーの再生

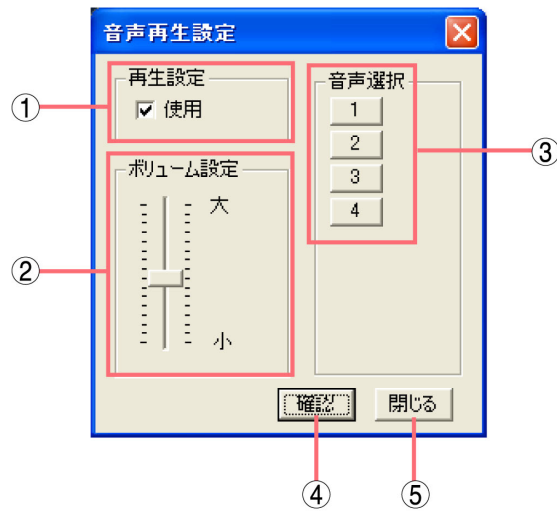
以下の手順で、コピーデータを再生できます。

- 1 KDBViewer フォルダを開く。
- 2 viewer.exe をダブルクリックする。
KDBビューアーが起動し、コピーデータリストを表示します。
(P. 4-22 「コピーデータリスト」)
- 3 コピーデータリストより再生したいリストを選択し、「検索」を押す。
カレンダーの日付は、黄色 (今日)、赤色 (コピーデータのある日)、青色 (コピーデータのない日) で表示されます。赤色の日付を選択すると白色に変わり、タイムテーブルにカラーバーで表示します。
- 4 タイムテーブルの再生したい位置をクリックして時刻カーソルを移動し、再生ボタンを押す。
映像表示画面に再生映像を表示します。再生操作部でいろいろな再生ができます。

メ モ タイムテーブル上部の時刻表示をクリックすると、タイムテーブルを拡大できます。

[音声再生設定]

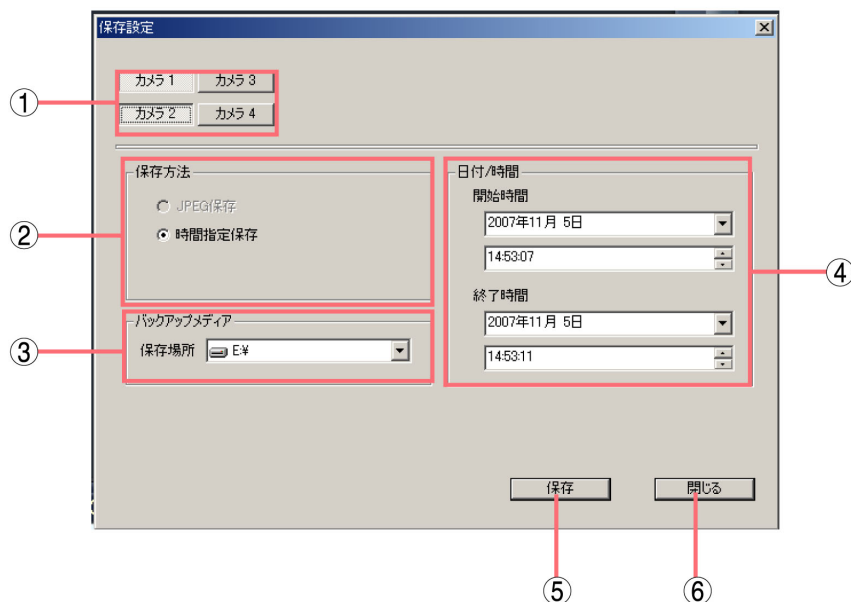
KDB ビューアーのオーディオ設定ボタンをクリックすると、以下の音声再生設定画面を表示します。



- ① 再生設定 : 再生時の音声出力を選択します。出力する場合は、チェックボックスをチェックしてください。(初期設定：使用)
- ② ボリューム設定 : 音量を調整します。
- ③ 音声選択 : 音声出力するチャンネルを選択します。選択したチャンネルに音声データがある場合、音声が出力され、再生画面に「A (黄色)」を表示します。1チャンネルのみ選択できます。
- ④ 確認 : 設定内容を保存し、音声再生設定画面を終了します。
- ⑤ 閉じる : 設定内容を保存せずに、音声再生設定画面を終了します。

[保存設定]

KDB ビューアーで再生しているコピーデータから、JPEG による静止画面保存や時間を指定して KDB 形式による部分保存を行います。



JPEG 保存 : 1 画面表示で再生停止している状態で、 をクリックすると保存設定画面を表示し、「JPEG 保存」が選択できます。保存場所を選択し「保存」を押すと、再生停止した画面の JPEG ファイルを保存できます。JPEG ファイルには、カメラ番号と日時の OSD が付加され、カメラ番号と日時から構成されたファイル名になります。また、JPEG 保存と同時に改ざん検出用の「ウォーターマークチェックプログラム」を保存できます。保存先は「保存場所」で指定したドライブの直下となります。

[JPEG ファイル名]

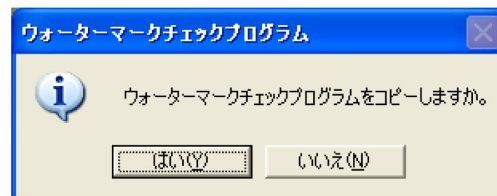
(例) 02-20071106-131536-902.jpg
 カメラ 西暦 月日 時間 管理番号
 番号 年 時・分・秒

時間指定保存 : 再生停止している状態で、 をクリックすると保存設定画面を表示し、「時間指定保存」が選択できます。再生中のコピーデータから KDB 形式で部分的に切り出して保存することができます。カメラ番号、開始時間、終了時間、保存場所を選択し「保存」を押すと、指定した時間の KDB 形式のデータ (KDB フォルダ) が保存できます。保存先のファイル構成はコピーデータ部が「保存場所」→「KDB」フォルダ →「Backup」フォルダ →「○○○○○○」フォルダとなります。

- | | |
|---------------------|--|
| ① チャンネル選択 | : 時間指定保存をする場合、コピーするカメラ番号を選択します。 |
| ② 保存方法 | : 保存方法を選択します。JPEG 保存を選択するには、1 画面表示で再生停止している状態で、  をクリックしてください。 |
| ③ バックアップメディア (保存場所) | : 保存したいドライブを選択します。 |
| ④ 日付/時間 | : 時間指定保存をする場合、保存したい範囲を開始時間と終了時間で指定します。 |
| ⑤ 保存 | : 設定した条件で保存を開始します。 |
| ⑥ 閉じる | : 保存を行わずに保存設定画面を終了します。 |

[ウォーターマークチェックプログラム]

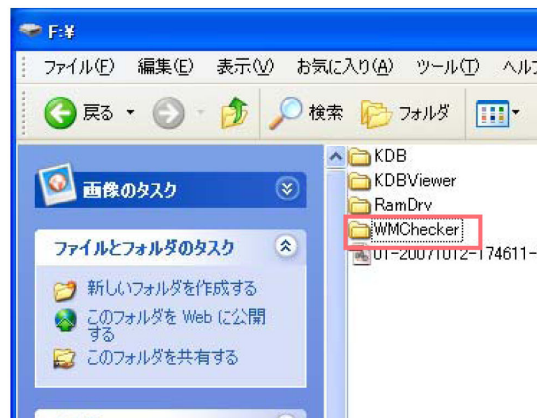
ウォーターマークチェックプログラムは、KDB ビューアーで保存した JPEG 画像に改ざんが行われていないか確認するものです。JPEG 保存を行うと、以下のメッセージを表示します。



「はい」を押すと、JPEG ファイルを保存したドライブにウォーターマークチェックプログラムを保存します。

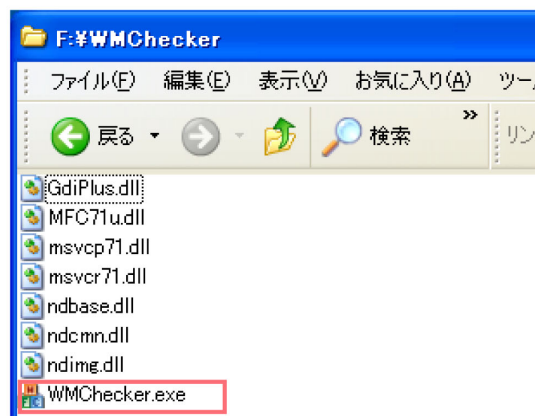
以下の手順で、改ざん検出を行います。

1 WMChecker フォルダを開く。



2 WMChecker.exe をダブルクリックする。

ウォーターマークチェックプログラムが起動します。



3 「ファイルを開く」をクリックし、改ざん検出を行う JPEG ファイルを開く。

File Path に JPEG ファイルの保存場所を表示します。

4 「チェック開始」をクリックする。

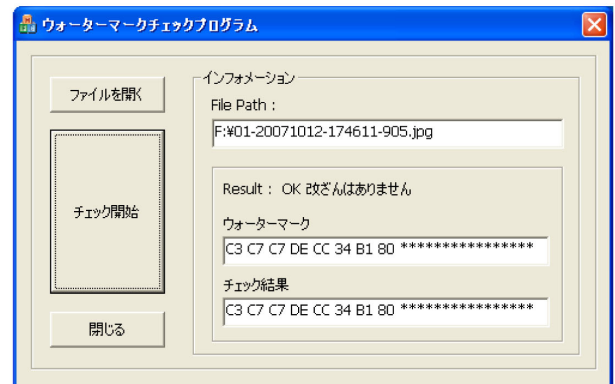
Result : に結果を表示します。

改ざんされていない場合 :

OK 改ざんはありません

改ざんされている場合 :

警告!! 改ざんを検出しました



5 「閉じる」をクリックする。

ウォーターマークチェックプログラムを終了します。

■ SFX ビューアー

● SFX 形式について

ハードディスクに録画された映像データを1チャンネルのみ指定し、コピーすることができます。コピーしたデータは、ビューアーを含む実行ファイル形式（exe 形式）なので簡単に再生することができます。

SFX ファイルのファイル名はカメラ番号と日時から構成されます。

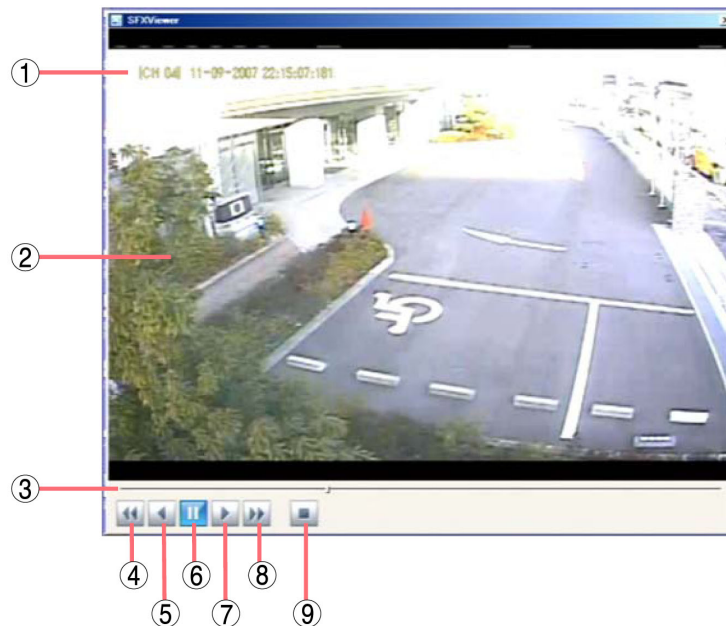
[SFX ファイル名]

(例) 10042007-1243 ~ 10042007-1245-01.exe
 月日 西暦 時間 月日 西暦 時間 カメラ
 年 時・分 年 時・分 番号

ご注意

SFX 形式では、音声を保存することはできません。音声を保存する場合は、KDB 形式を使用してください。

● SFX 画面表示について



- ① 再生情報表示 : 再生中の映像の情報を表示します。カメラチャンネル番号、再生日時を表示します。
- ② 映像表示画面 : 再生されたコピーデータの映像を表示します。
- ③ 再生バー : 再生中の位置を表示します。また、停止中に再生バーをクリックするとその位置から再生を行います。
- ④ 早戻しボタン : 早戻し再生を行います。
- ⑤ 逆再生ボタン : 逆再生を行います。
- ⑥ 一時停止ボタン : 再生中の映像を一時停止します。
- ⑦ 再生ボタン : 再生を行います。
- ⑧ 早送りボタン : 早送り再生を行います。
- ⑨ 停止ボタン : 再生中の映像を停止し、先頭に戻ります。

ご注意 早戻し再生と逆再生はフレームをスキップしながら再生します。すべてのフレームを再生していません。